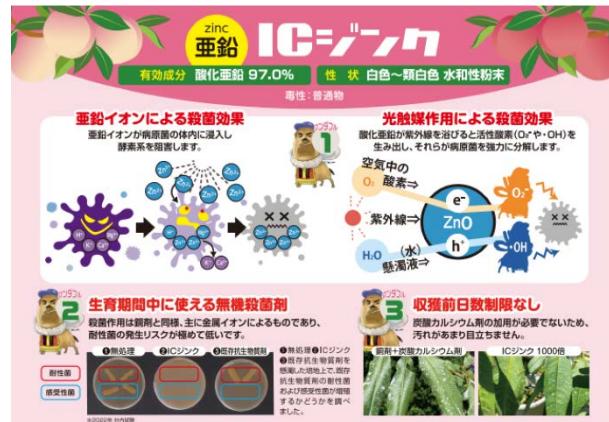


## 2 高知県産業振興計画賞

製品名 : 殺菌剤「IC ジンク水和剤」  
企業名 : 井上石灰工業株式会社  
代表者 : 代表取締役社長 井上 孝志  
所在地 : 高知県南国市螢が丘 2-3-5  
電話番号 : 088-855-9965  
担当者 : マネージャー 小松 浩之



■登録内容						
作物名	通用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
もも類	せん孔細菌病	1000倍	200~700L/10a	発病前~発病初期	8回以内	散 布
●高温時の散布では薬害が発生する場合があるで注意すること。 ○もも及びネクタリンの無鉛栽培で使用する場合、果实に入れないよう注意すること。 ○本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。 ○もも類:発芽(萌芽)~落花(開花終了)までを除く期間での使用に限る。						
<b>散布時期</b>						
<b>IC-Zink 委託試験成績</b>						

### (製品の概要及び受賞理由)

全国的に深刻化していたモモの細菌性病害に対し、当社の石灰加工技術を応用して開発された殺菌剤です。多くの産地で病害防除手段が不足したうえに、従来の抗生物質剤では耐性菌の発生が問題となっており、安全で効果的かつ長期的に使用できる殺菌剤の開発が求められていました。

本剤は酸化亜鉛を有効成分とし、水に分散しやすく沈殿しにくい独自加工によって作物に均一に付着し、高い防除効果を発揮します。また、人体への安全性が高いため、収穫前日数の制限がなく生産者が扱いやすいことも特徴です。さらに耐性菌に対しても殺菌効果が確認され、生産現場の不安解消に大きく貢献しています。

2023 年に国内で初めて酸化亜鉛を有効成分とする殺菌剤として農薬登録を取得し、2025 年の販売開始後は全国のモモ産地で高い評価を受けました。現在は各地の栽培指針にも採用され、安定生産に欠かせない殺菌剤として普及が進んでいます。

今後は国内のモモ市場にとどまらず、輸出拡大を目指す果樹産業全体の成長にも寄与すると期待され、他作物への展開も視野に研究を進めています。

地場産業である土佐石灰製造業を基盤に、自社の石灰加工技術を活かした高付加価値製品の開発や外商を推進する取組は、高知県産業振興計画が掲げる「地産外商」と「イノベーション」のモデルケースとして高く評価されました。